



～豪華絢爛な時代絵巻を華麗に演じる～

てるひめ

「第33回照姫まつり」の主役三役が決定！

と き 2月10日発表

と ころ 生涯学習センター（豊玉北6丁目）

第33回「照姫まつり」の主役三役が決定した。
生涯学習センターでオーディションが行われ、33代目となる照姫の座には、

区内在住の高校生、片山 亜樹（かたやま あき）さんが、多数の応募者の中から選ばれた。片山さんは「笑顔あふれる明るいお祭りにしたいと思います。」と、照姫まつりへの意気込みを語ってくれた。

豊島泰経役には、村松 央規（むらまつ ひさのり）さん、奥方役には、星川 奈々（ほしかわ なな）さんが選ばれた（共に区内在住）。

照姫まつりは、4月26日（日）都立石神井公園とその周辺で開催する。

照姫まつり ～三役オーディション～



▲左から星川さん、片山さん、村松さん



▲昨年の照姫まつりの様子①



▲昨年の照姫まつりの様子②

【照姫まつりとは】

照姫まつりは、室町時代の石神井城主豊島泰経とその娘「照姫」にまつわるまつり。照姫は、室町時代中期に石神井城を本拠地とし、栄華を極めていた豊島泰経（としま やすつね）公の娘として語り継がれている。戦乱の中、泰経公は宿敵太田道灌（おおた どうかん）に攻め滅ぼされ、現在の石神井公園にある三宝寺池に飛び込んだ。愛娘の照姫は、泰経公の最期をみると、悲しみのあまり自らも池に身を投げ、命を絶ったと言われている。

【最大の見どころは「照姫行列」】

照姫まつり最大の見どころは、照姫、泰経公、奥方を中心に、華やかな衣装の照姫や勇ましい武者にふんした約120人が石神井公園周辺を練り歩く照姫行列。石神井公園内の野外ステージで行われる出陣式は、泰経公の掛け声で家臣たちが「エイエイオー！」という勇ましい鬨（とき）の声をあげる様子や、照姫や奥方等の美しい舞に会場は大いに盛り上がる。（昨年来場者数：47,000人）

【問い合わせ】練馬区 商工観光課 まつり係 電話 03-5984-2389